



十文字西地区 交流センター報

●令和5年度－3号
令和5年6月15日発行
〒019-0513
十文字町植田字一ト市330
☎ 44-3100 FAX 44-5243

十文字西地区交流センター
センター長 近 孝夫



5月の大型連休は好天にも恵まれたことにより、過去2～3年コロナ禍で閉鎖的であった人流からも解放され、日本各地で様々な行事が再開されました。

結果として、交通機関は勿論、イベント会場は超満員というニュースが毎日のように報道され、かなりの経済効果をもたらしたものと想像されます。

ところで、6月の和名「水無月（みなづき）」は、「水の月」という意味だそうです。田んぼに水を引く時期であったことから、そう呼ばれるようになったようです。紫陽花が咲き始め、雨が緑を濃く引き立たせるこの月、梅雨に湿った空気に重く甘い香りを滲み出します。これも農耕文化の特色だと思います。

6月の主な行事

- 「芒種」（二十四節気）：稲や麦など、芒（のぎ＝穂の針のような突起）のあるような穀物の種を撒くころのこと。（現代はもっと早い時期に播種）

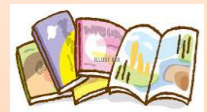
- 11日「入梅」（雑節）：梅雨入りの目安のために設けられたものであり、農家が田植えの時期を決めるために梅雨入りの時期を知るとは、とても貴重だった。現代のように気象情報が発達していなかった時代の名残。



- 16日「和菓子の日」：嘉祥元年（848年）6月16日に16個の菓子や餅を神前に供えて疾病除けと健康招福を祈ったのが始まり。1979年に全国和菓子協会が制定した。



～ 偉人の言葉に学ぼう ～



◆心に響く「論語」より

「君子は矜(きょう)にして争わず、群にして党せず」

《意味》君子というものは、多くの人と親しく交わりながら、決して一部の人だけにおもねたりはしないものである。

度胸の狭い凡人は、すぐに徒党を組む、派閥をつくって、お互い同士で争い合ったりする。

※おもねたりとは、「人の気に入るように振舞う」こと

★チャレンジデー応援企画「健康スポーツフェス」開催 5/31(水)★



●応援に来てくれた「にしの杜保育園」のみなさんとグラウンドゴルフ参加者



●グラウンドゴルフの様子



●左から、ユニカール、スマイルボウリングお楽しみ抽選会の様子。

●今年度最初の交流センター事業「健康スポーツフェス」が、十文字西スポーツ交流センターグラウンドと西地区館多目的ホールで開催されました。チャレンジデーは今年で最後となり、横手市は対戦相手の京都府福知山市に勝利し有終の美を飾りました。当日は、にしの杜保育園児を含む120名ほどが参加し、子どもたちの可愛らしい声援を受けながらプレイを楽しんでいました。



★交流館展示室★
お知らせコーナー



●柿崎孝作さんの詩とスケッチ画
(睦合中島地区在住)

●十文字陶芸同好会の作品

《 展示期間 7月～9月 》

※前回の展示は県外のお客様にもご覧いただき作品の素晴らしさに感動されていました。地域の皆さんも、どうぞお気軽にお立ち寄りください！また、お知り合いで創作活動をされている方がいましたらご紹介ください。交流館に展示させていただきます。

★地域の情報コーナー★

■川前・中島いきいきサロン
「第2回 寺子屋塾」開催

- 日時 7月9日(日) 午前10時
- 会場 西地区館2階 研修室
- 講師 川前地区 永泉寺住職
- 内容 永平寺で3年間修行僧の指導役を務められた住職から、貴重な曹洞宗と永平寺のお話を聞き、座禅を体験する予定。



※川前、中島以外の方も参加できます。ご興味のある方は主催者の松野さんまでご連絡ください。

【問合せ】 電話44-5555 (松野利喜男)